

三中だより

令和7年7月18日発行
門真市立第三中学校
校長 杉井 信夫

【学校教育目標】

〈心を磨く〉

感じる心、思いやる心を持ち、物事を多角的・多面的に考え、誠実に生きる生徒の育成

〈知性を磨く〉

意欲をもって積極的・主体的に学び、深く考え、行動する生徒の育成

〈身体を磨く〉

元気で、粘り強く、そしてたくましく社会を生きぬく生徒の育成



【令和7年度の重点目標】

- ① 積極的・主体的に学び、深く考え、行動する（生徒も大人も）
- ② 主体性の土台である安心・安全な学校環境をつくる（生徒も大人も）

夏休み 宿題以外で何か一つ残るものを

「夏休み」という言葉には、胸をわくわくさせる響きがあります。ところが、大人になって自分が子どもだった頃の夏休みを思い出してみると、楽しかった記憶だけではありません。なぜかという、夏休みが終わろうとしている時期の苦しい記憶を思い出してしまうからです。

皆さんは経験がありますか？「あれも終わっていない、これもやらないといけない」と焦りながら過ごす夏休みの終盤。そして、1ヵ月も前の記憶をなんとか思い出して書く絵日記の宿題。そして、休みが明けて学校が始まると、「今年も何もしないまま夏休みが終わったな」という後悔。

この原因は明らかです。夏休みの初めのころは朝起きていたのに、だんだんと寝坊をするようになり、計画していた学習や宿題も1日また1日と先送りするようになってしまう。やがて、お盆のころには罪悪感よりも楽をすることが勝つようになってしまう。そして、振り返ってみると何も心に残っていない夏休みだったと後悔する。このような心の弱さは誰にでもあるものです。

それでは、後悔しない夏休みにするためにはどうすればよいでしょうか。自分の心の弱さを克服するのが一番よいのですが、そう簡単な事ではないと思います。では、発想を変えてみましょう。だらだらして何も心に残らないから後悔するのであれば、逆に何か一つでもいいから心に強く残ることをしてみるのはいかがでしょうか。



そのための大切な条件は「主体的な意思（宿題以外ということ）で、普段の日は無理だが、夏休みだからできることにチャレンジする」です。例えば、筋トレを1日も欠かさずやるとか、本を15冊読破する、何か使えるものを工作する等、興味・関心のあることを探究してみてください。3年生にとっては、自分の進路を考える夏でもあります。いろんな高校に自分の足で出かけて自分の目で確かめてきてください。また、自分の弱点を克服することにもチャレンジしてほしいと思います。

夏休みの過ごし方もキーワードは「主体的に考え、行動すること」です。自分で決めて、自分でその約束を守り、成し遂げた何か一つのことがあれば、夏休みは充実したものになり、「今年は〇〇ができた夏休み」と心に残ることでしょう。

宿題も早め早めに取り組めば余裕ができますね。ぜひ「主体的な意思」で夏休みを有意義な時間にしてください。そして、2学期にはひと回りたくましくなって、元気な姿で登校してくれることを楽しみにしています。

先生方も学んでいます 7月9日

三中の先生方は「主体性を育む授業づくり」を目指して校内研究に取り組んでいます。講師に中山芳一先生（非認知能力育成研究の第一人者。「御上先生」というドラマの制作に関わられました。）を迎え、大西先生、堀中先生に授業を公開していただきました。門真小学校、速見小学校の先生方にも授業を見学していただき、授業の中で非認知能力を刺激するための仕掛け（ギミック）について意見交流を行いました。

学力テストなどで数値化できる力を「認知能力」と言います。これとは異なり、「非認知能力」は自己肯定感、意欲、協調性、共感性、やり抜く力など、数値で表すことが難しい心の力や社会性の能力のことです。非認知能力は主体性を高めるための重要な要素であり、認知能力の土台となる力です。授業の中で丁寧に育みたいと考えています。



進路説明会・進路ガイダンス

6月27日は3年生保護者向けの進路説明会を行い、進路決定にあたっての留意点とお願い、私立・公立の入試の仕組み、進学時の必要経費や奨学金等の説明をしました。多くの保護者の方にご参加いただきありがとうございました。また、7月4日は7校の高校の先生に来ていただいてガイダンスを行いました。生徒たちは直接高校の先生から話を聞いてよい刺激を受けたと思います。「夏を制する者は受験を制する」と言われます。夏休みを最大限に活用しましょう。

生徒会あいさつ運動・掃除強化週間

7月7日～生徒会執行部による「あいさつ運動」「掃除強化週間」が実施されました。朝校門のところで執行部の人たちがあいさつをしています。登校してくる多くの生徒が笑顔であいさつを返しています。私にも自分から先にあいさつをしてくれる人が多く、いつも元気をもらっています。

掃除強化週間は掃除の時間に軽快な音楽をかけてくれていて、校長室の掃除も手がはかどりました。



（裏面もあります）

8・9月の行事予定

8月7日（木）生徒会 JS ステージ交流会

9日（土）～15日（金）学校閉庁日

26日（火）始業式

27日（水）3年実力テスト②

9月1日（月）生徒集会

2日（火）3年チャレンジテスト 各種委員会

4日（木）評議会

11日（木）テスト1週間前（クラブ停止）

18日（木）～19日（金）第2回習熟度確認テスト

26日（金）英語校内暗唱大会

29日（月）生徒会選挙

30日（火）各種委員会（体育祭用）



※事件・事故に巻き込まれないように「自分の身は自分で守る」

- ① ネットのマナーを守る
- ② SNS の不用意な書き込み、誘い文句に絶対乗らない
- ③ 「スマホを操作しながら～」をしない
- ④ 不審者対策で周囲を警戒する習慣をつけ、できるだけ明るい道を通る
- ⑤ 遅い時間の不要不急の外出をしない
- ⑥ 外出する際は「誰と」「どこで」「何時まで」を必ず家の人に言う
- ⑦ 緊急時には「叫ぶ」「逃げる」「110番」



※夏休み中に学校以外にも相談できる機関があります。

- 門真市教育センター『子ども悩み相談サポートチーム』 06-6902-6929
* 電話相談 10:00~16:00 火~木曜日(祝日・休日は除く。)
- 門真市こどもオンライン相談
第2期 令和7年10月6日(月)~10月31日(金) 午後5時~午後9時
- 『すこやか教育相談24』 0120-0-78310
* 24時間対応の電話相談窓口です。(IP電話からは、かかりません。)
- 大阪府教育センター『すこやか教育相談』
 - すこやかホットライン(子どもからの相談) 06-6607-7361
Eメール: sukoyaka@edu.osaka-c.ed.jp
 - さわやかホットライン(保護者からの相談) 06-6607-7362
Eメール: sawayaka@edu.osaka-c.ed.jp
 - しなやかホットライン(教職員からの相談) 06-6607-7363
Eメール: sinayaka@edu.osaka-c.ed.jp
 - * 電話相談 午前9時30分~午後5時30分 月~金曜日(祝日・休日・年末年始は除く)
 - * Eメール相談 24時間受付(回答は後日)
 - * FAX相談 06-6607-9826
- 被害者救済システム『子ども家庭相談室』
 - * 大阪府教育委員会が運用する権利擁護機関による相談窓口です。
 - (18歳未満のみの対応) 0120-928-704 [無料電話]
 - (保護者等) 06-4394-8754 * 午前10時~午後8時 月・火・木曜日(祝・休日は除く)
- 児童相談所全国共通ダイヤル
189「イチハヤク」 * 児童虐待に関する通告や子育ての悩み等の相談窓口です。
- 『LINE相談』
 - 実施日: 毎週日・月・火・水・木曜日 ※8月10日(日)~8月17日(日)を除く。
 - 特設日: 8月22日(金)、23日(土)、29日(金)、30日(土)、9月5日(金)、6日(土)
 - 相談受付時間: 午後7時~午後9時30分
 - 相談対象者: 府内の小学校・義務教育学校・中学校・高等学校・支援学校の児童生徒
 - * 学校に配付される『LINE相談』カードに掲載されている二次元コードからアクセスができます。
 - カードがない場合は、各校で掲示されるポスターをご覧ください。
- 大阪府不登校支援センター『まいど』 * 不登校に関する電話相談です。
実施日: 午前10時00分~午後4時00分 月~金曜日(祝日・休日・年末年始は除く)